

tap behavior™

— 2018

CONTENTS DESIGN EXHIBITION

02.12.2018 17:00 OPEN

@ HOKUSEN GALLERY IVORY



CONTENTS DESIGN EXHIBITION



スクリーンを越えた 体験のデザイン

ほくせんギャラリー ivory

札幌市中央区南 2 条西 2 丁目 NC HOKUSEN ブロックビル 4F

2/12 (月・祝) 17:30-19:30

<http://www.fkd-lab.net/tapbehavior/>

 札幌市立大学
SAPPORO CITY UNIVERSITY

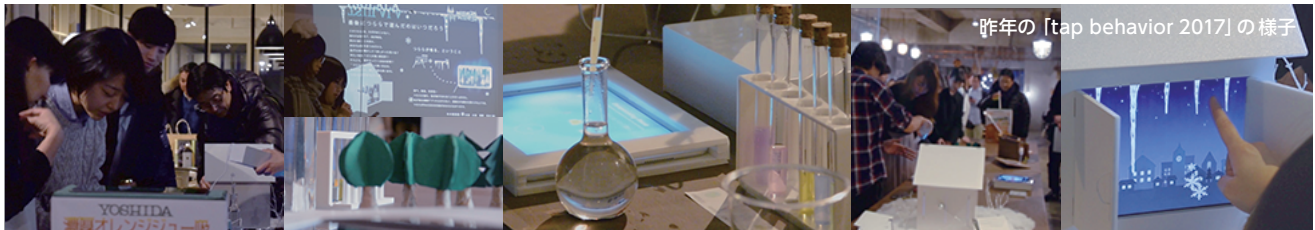
gekitez
<http://www.gekitetz.com/>

 快田

HOKUSEN GALLERY
ivory

札幌市立大学 デザイン学部 コンテンツデザインコース 学外授業発表会

札幌市立大学の学生による、 アナログ素材と情報端末を利用した体験型コンテンツの エキシビジョン「tap behavior 2018」を開催します!!



イベント概要

本イベントは「デジタルコンテンツとの関わり方」を体験を通して考える展示会です。
普段の日常生活で身近なツールとなったスマホやタブレットを、
指以外の操作や演出・ストーリーを加えることで、どんな体験ができるでしょうか。

「体験のデザイン」にフォーカスし、札幌市立大学デザイン学部3年生の約30名が、
様々なアナログ素材を利用し、指以外の操作と独自アプリの連動を学生自らが企画・制作し、
タップ (tap = 触れる) の振る舞い (behavior : ビヘイビア) をデザインした体験型コンテンツを展示します。

昨年1月に実施した tap behavior 2017 では、新たな体験に多くの来場者から好評価をいただきました。
2年目の今回も、6つのコンテンツの体験発表会となる1日限りのエキシビジョンを行います。

普段当たり前前にスマホ画面をタップする振る舞いを捉え直し、
ヒト、アナログ素材、デジタルメディアの接点を探るこの機会。
「スクリーンを越えた体験のデザイン」に、ぜひご注目ください。

※ 昨年のイベントの様子 (YouTube動画) <https://goo.gl/oze92v>



動画はこのQRコードを読み込んで
ご覧になることもできます。

出演

札幌市立大学 デザイン学部 3年生 (約30名)

講師



福田 大年 (札幌市立大学 デザイン学部 専任講師)
造形修士 (武蔵野美術大学)・教育学修士 (北海道教育大学)
デジタルコンテンツ制作会社の起業などに携わった後、現職。
専門領域はデザイン・インタラクション。多様な人たちの発想
を活かしたデザインの実現化を促すプロセス構築を、道内外の
団体・企業などとも取り組む。学会、広告団体、キッズデザイン
などでの受賞歴あり。クリエイティブユニット Futaba. 所属。



川名 宏和 (gekitez.com)
デザイナー・エンジニア
広告や企業のR&Dクリエイティブ、メディアアートなどのデジタル
コンテンツに関わるデザインの企画や設計・開発といったクリ
エイティブな活動を行う。
主な活動歴は、文化庁メディア芸術祭、広告電通賞、Youfab
Global Creative Award、六本木アートナイト 採択 など。

日時

2/12 (月・祝) 17:30-19:30

タイムスケジュール

17:00 - 開場
17:30 - 作品体験 開始
18:00 - 作品説明 (1チーム10分程度) × 6チーム
19:30 終了

会場

ほくせんギャラリー ivory [アイボリー] (札幌市中央区南2条西2丁目 NC HOKUSEN ブロックビル 4F)

人数

40名程度

参加費

無料 (軽食、ドリンク付)

イベントサイト

<http://www.fkd-lab.net/tapbehavior/>

お問い合わせ先

メール : info@fkd-lab.net / 電話 : 011 592 2572 (札幌市立大学 福田研究室)